

令和4年9月12日 谷田辺

～ いのちと環境について “すみだ水族館” と共に学びます ～

「メダカの学校」プロジェクト

解体工事から救出したメダカを新校舎の池に放流！

墨田区は、すみだ水族館（墨田区押上1-1-2 東京スカイツリータウンソラマチ 5F・6F 館長 毛塚 広治）と連携し、区立吾孺立花中学校の旧校舎（旧立花中学校校舎）の解体工事から救出・保護したメダカを新校舎の池に戻す「メダカの学校」プロジェクトを令和4年7月1日（金）から始動した。

旧立花中学校校舎の池から保護したメダカは、野生のメダカの寿命が1年ほどであるにも関わらず、約10年間、たくましく“いのち”をつないでいた。「メダカの学校」は、このメダカが地域の皆さんから愛され、大切にしてほしいという思いから、再び子どもたちと一緒に学校で生活できるように新校舎の池にメダカを戻すプロジェクト。メダカ保護の経緯や、そこから見える問題を伝えることで、“いのち”の大切さや環境保全などについて学ぶことを目的としている。

メダカを学校に再び温かく迎えるにあたって、吾孺立花中学校ではメダカ飼育部を設立し、10名の生徒が部員となった。また、放流される池には、同校アート部の生徒が愛情を込めて装飾を行った。

9月10日（土）の放流会には、墨田区立吾孺立花中学校と中川小学校の生徒・児童27名が参加。すみだ水族館によるメダカの飼育方法についての授業が行われた後、参加した生徒・児童によって池にメダカが放流された。メダカ飼育部の生徒は「メダカを大切に育て、これからも命を絶やさずことなく、つないでいきたい。」と真剣な面持ちで感想を話してくれた。また、生徒と一緒にメダカの放流を行った墨田区長 山本亨は「メダカの学校でできたつながりを大切に、優しいところを持って育ててほしい。」と話す。

なお、放流会ではメダカの愛称も発表。プロジェクト始動日にメダカの授業を受けた中学1年生が考えた候補の中から投票により「泳ぐ宝石 メダカのあずちゃん」に決定した。解体される校舎にメダカがいることを墨田区に情報提供した同校の卒業生である蛭田 空良さんからは、愛称の発表を受けて、「これから後輩にも、いのちを大切にするという想いをつないでいってほしい。」と想いを在校生に伝えた。

これから「泳ぐ宝石 メダカのあずちゃん」は、吾孺立花中学校と中川小学校 両校の生徒・児童の手で大切に育てられる。



授業の様子



放流の様子

メダカ発見から保護にいたる経緯

きっかけ（校舎解体現場からメダカを発見）

主役となる今回のメダカは、吾孺立花中学校の旧校舎(旧立花中学校校舎)の解体工事に伴い、卒業生からの「解体予定の校舎の池にメダカがいるので保護してほしい。」との情報提供がきっかけで、現地確認をしたところメダカが確認され、すみだ水族館ご協力のもと救出・保護をしたもの。

メダカの色や形から、絶滅危惧種のミナミメダカである可能性があり、このメダカのルーツを調べるために、遺伝子検査を行うとともに「いつ」「どこから」持ち込まれたのかなどの導入経緯の調査も実施することとしました。



旧立花中学校の校内にてメダカが生活していた池



救出・保護したメダカ

メダカの導入経緯調査および、遺伝子検査結果

メダカは、約10年前に学校近くの旧中川から人為的に旧立花中学校の池に導入されたことがわかり、ミナミメダカの中でも「東京めだか」のような、貴重な東京在来特有の遺伝子を持つメダカの可能性がありました。

しかし、遺伝子検査の結果は、東京の地域集団外の遺伝子が確認され、また品種改良のヒメダカ（ミナミメダカの改良品種）と交雑を経たミナミメダカであることが判明しました。

これ以上の遺伝的かく乱を避けるためにも自然の川に戻すことはできませんが、このメダカのいのちを引き続き守りたいという思いでプロジェクト発足に至りました。



すみだ水族館による調査・捕獲の様子1



すみだ水族館による調査・捕獲の様子2

児童・生徒と“いのちと環境”について学ぶ

今回のメダカは、純粋な「東京めだか」ではなかったものの、メダカの寿命が約1年であるにもかかわらず、旧立花中学校の池に導入以降、人の手が全く加えられることなく自分たちの力で約10年の間、たくましく“いのち”をつないできた奇跡のメダカであり、地域のみなさんに愛され大事にされるべき貴重なメダカです。

そして、生きものの“いのち”についてはもちろん、外来種の持ち込みによる生態系の保護についてなど考えるととても良い機会のため、近隣の吾孺立花中学校と中川小学校の生徒・児童と共に学び、その後、それぞれの学校に戻し、再び一緒に生活することとしました。

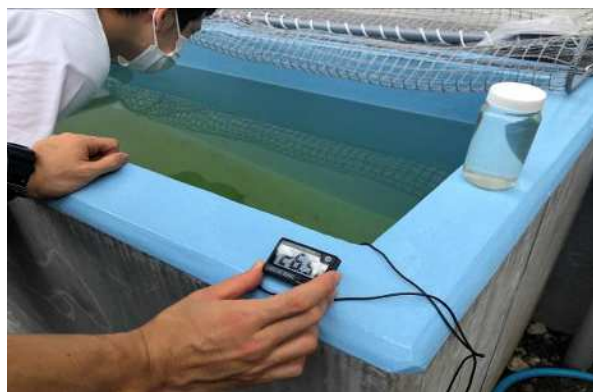
メダカ放流会までの準備

吾孺立花中学校で新たに設立されたメダカ飼育部の生徒と、メダカが放流される池に装飾を行うアート部の生徒を、8月3日(水) すみだ水族館に招待いただき、保護メダカを間近で観察しながら、飼育スタッフからいきもののいのちを預かり、飼育する上で大切にしてほしいことを伝えてもらえました。そして、この経験をもとにアート部による池の装飾も行われました。

また、すみだ水族館では、8月1日(月)から31日(水)までの一か月間、同館で展示している純粋な「東京めだか」の隣に、保護メダカを一般向けにも展示していただいたとともに、メダカが暮らす新校舎の池の水質検査など、環境整備をご協力いただきました。



メダカ飼育部・アート部の見学の様子



すみだ水族館 飼育スタッフによる池の水質検査



アート部による池の装飾1



アート部による池の装飾2 (3匹のメダカがポイント)

「メダカの学校」プロジェクト始動までの経緯、放流までの活動について

2021年11月	旧立花中学校の卒業生より「解体予定の校舎の池にメダカがいるので保護してほしい。」と墨田区へ情報提供。
2021年12月2日	旧立花中学校で現地調査を実施 校舎内の池にメダカの存在を確認
2021年12月8日	メダカの捕獲(224匹)および、すみだ水族館への移動、保護
2022年1月	メダカの導入経緯の調査を実施 約10年前に旧中川から導入されたことを確認
2022年2~3月	メダカの遺伝子調査を実施 遺伝的攪乱が起こったメダカと確認され、自然の川に再び戻すことができないと判断。

2022年7月1日	<ul style="list-style-type: none"> ・すみだ水族館による小中学校での授業を実施し、プロジェクトを始動。 ・メダカの愛称を生徒から募集開始 <p>《授業概要》・午後1時40分～午後2時10分 小学5年生対象 墨田区立中川小学校（墨田区立花5-49-4 校長 中嶋 保徳）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・午後2時45分～午後3時15分 中学1年生対象 <p>墨田区立吾嬭立花中学校（墨田区立花5-48-2 校長 佐藤 順一）</p>
2022年8月1日	すみだ水族館内にて、保護メダカ展示。（31日まで）
2022年8月3日	<p>すみだ水族館ご協力のもと吾嬭立花中学校のメダカ飼育部・アート部を対象に「いきものの命を預かる上で大切にしてほしいこと」について授業を実施。</p> <p>8月中は、吾嬭立花中学校のメダカを戻す池の水質などのメンテナンスをすみだ水族館と行うとともに、同校アート部による池への装飾も実施した。</p>
2022年9月10日	学校でのメダカ放流会・メダカの愛称発表

《問合せ》 教育委員会事務局 庶務課 03-5608-6313
お問い合わせは午後5時までをお願いします。（広報広聴担当 03-5608-6220）